

# 書香

1989. 3. 30

NO. 13

## 木 と 石

石川 義和

日本の木の文化に対してヨーロッパの石の文化という言い方がある。初めてヨーロッパに行った時、本当にすべての建物が石で出来ているのに驚いた記憶がある。写実的な聖人達の人形をデコラティブに飾りつけた多くの教会、博物館、美術館、市庁舎、等々、すべてが豪華絢爛に写る。そして、それらが15世紀16世紀からのもの、時には10世紀以前のものであると聞くと、更に驚く。一般のタバコ屋さんも、床屋さんも、石造りの家でその外壁は美しい飾りがある。路地裏に入っても、農村部を歩いても、いわゆるトタンでおおっただけの質素でみすぼらしいバラックというものがない。見つけた廃屋は、やはり、壁をレンガで積み上げて、屋根が落ちていただけのものだった。ギリシャへ行った時、素人ながら、ギリシャがヨーロッパ文化のルーツだと感じた。紀元前4、5世紀に造られたパルテノン神殿。パリの町で驚いたデコラティブな建造物、デコラティブな柱。それが、ここにあった。更に、ギリシャの石は、石といっても、大理石。太陽の光でキラキラと輝くまばゆいばかりの真っ白な大理石。梁の所には大理石の猿、馬、等々の写実的な彫刻。町を歩けば、薄い布を被った極めて豊満な女神達。石で出来ているとは思えない程、軟らかそうで豊満な胸。日本にも来たことのある“ミロ

のビーナス”がギリシャには何人もいた。紀元前4、5世紀に、ソクラテスやプラトンがここで思索を楽しんでいたと想うと興奮する。パルテノン神殿は、実は、一部の柱、一部の梁の部分、床の部分しか残っていないが、私は、ここに石の美を感じた。

この頃、日本はまだイノシシを追いかけていた時代である。最近、いくつかの遺跡が発見されて話題を呼んでいるが、歴史はずっと新しい。日本の文化は木から出来ているが故に、永い年月が経つうちに、朽ちてしまったり、火災にあつたり、消えて行ってしまう。私のほんの短い経験でも、上野の五重塔が焼失し、法隆寺の金堂も火事に遭った。伊達正宗の仙台城へ行ったら、そこにあつたのは何とか丸跡という説明文と柱の建ててあつた跡という地面の穴であつた。小学校に入る前に父親に大阪城に連れて行ってもらつたことがあるが、大阪城は鉄筋コンクリートでできていて中にエレベータまであるのに素直に驚いた記憶がある。木の文化は、日本の長い歴史の根幹であり、平家物語や方丈記の思想になっているのであろう。よどみに浮かぶうたかたはかつ消えかつ結びて久しくとどまりたるためしなし。

これらの文化は、一つはその土地の独自の自然環境が大きく影響している。現代におい

ても、そのような条件は同じであるにしても、ほとんど局在化した状態から非常にトランスファーの大きな時代になってきている。話は飛躍するが、富山大学、または、図書館が将

来一つの文化になるためには、5年10年という短い期間の計画性と、50年100年以上の遠くを展望した思想性が必要と思える。

(教養部・助教授)

## 図書館の開館時間など

——利用する者から——

藤井昭二

図書館の開館時間が気になりだしたのは、1977年に北米のイサカに滞在した時からである。

町の図書館で絵やレコードの借出をするということで、後学のため町の図書館を訪ねた。

驚いたことには、開館時間が夜の9時までであった。予想外のことでなぜ遅くまで開いているのか尋ねたところ、逆に日本で17時に閉館して、普通の勤人が図書館を利用できるかと尋ねられた。

図書館は役所と同様17時に終るものと思っていた私には大変な衝撃であった。

「大草原の小さな家」でみられるように、彼らは教会・学校・病院を自分達でつくり、先生や牧師を招いている。

住民が作った図書館、住民が利用し易い時間に図書館が開いているのは彼等には当然のことである。

次に大学図書館の開館時間が気になった。本学では通常平日8:30から20:00まで、土曜日は8:30から16:30までである。コーネル大学の図書館には世界の新聞が集められ、朝日新聞と日本経済新聞が7日か10日遅れで来ていた。そこで驚いたことには、開館時間は月～木、8時から夜半12時。金曜8時から22時、土曜9時から22時、日曜13時から夜半の12時までであった。これは表のように北米の大学はどこでも似たものであった。

ウヅホール海洋研究所の図書館は24時間開館しており、ここには世界の海洋関係の雑誌が集まり、ここにはない雑誌はもぐりだといわんばかりのエメリー教授の説明であった。

学会はもちろん世界の研究動向を知る機会であり、また旧友にあい、新しい友をうるこ

とができる。1987年夏、地質対比計画200と第四紀国際会議がカナダであり、多くの旧友と会い、各国の図書館の開館事情を聞くことができた。

主図書館にはあまり用事がないので不確かであるがというただしがきつきの答えが、表である。

ヨーロッパ・南米の大学は役人型で、北米韓国・ソ連は利用者型である。

日本の学生の住環境はアメリカのそれと比べて格段悪いことは「兎小屋に住む働き虫」という世界の評判を甘受せざるを得ないであろう。その環境の悪い学生が土曜の午後、日曜・夜間と図書館からしめだされているのはどういう訳だろうか？

現在夜間主コースが開設されているが、彼等が充分図書館が利用できるように配慮されているだろうか？

公共のサービスが硬直して国鉄がJRになり、宅配会社ができて郵便のサービスがよくなってきたことは誰も認めよう。

大学の社会への開放が問題になり、公開講座が行われるようになった。大学開放の一番的になりやすいのは図書館であろう。

私は学生のアルバイトや図書館のOBの方に手伝っていただいて、年間500万円程度で毎日夜半の12時まで開館することを考えてみたことがある。

日本が世界一金持になった今、外国の援助も当然であるが、正規の図書館職員の増員、学生・市民サービスのため、夜半の12時まで開館のための増員を要求するのは当然である。

僅か500万円から1,000万円位で、コーネル大学なみに、土日はもちろん、週日でも夜半

の12時まで開館できるのである。時間外の閲覧業務について民間委託という手も考えられる。

皆でもっと図書館のことを考えてもいい時期にきているのではないだろうか？

苦心して夜なかまで開館しても、図書離れた学生の利用がないのが落ち。と考えるのは余りにも今の学生を理解しないことであるとすれば幸である。

(表) ○大学図書館開館時間調

大学名	国名	月～木	金	土	日	紹介者
Univ. of Ottawa	Canada	8:30～23:00	8:30～17:00	9:00～22:00	10:00～16:30	藤井
Cornell Univ.	USA	8:00～24:00	8:00～22:00	10:00～22:00	13:00～24:00	〃
Univ. of S. Carolina	USA	9:00～23:00	9:00～23:00	9:00～19:00	10:00～22:00	Colquhoun
Univ. of Soel	Korea	8:00～23:00	8:00～23:00	9:00～23:00	9:00～19:00	Park
Univ. of Moscow	USSR	9:00～23:00	9:00～23:00		9:00～23:00	Kaplin
Woods Hole Oceanographic In.	USA	24時間休みなし				Emery
Univ. of Joensuu	FINLAND	9:00～19:00	9:00～19:00		休	Eronen
Univ. of Lyon	FRANCE	9:00～18:00	9:00～18:00		休	Pascoff
Univ. of São Paulo	BRASIL	8:00～18:00	8:00～18:00		休	Sugio
Ankara Univ.	TURKY	9:00～17:00	休		9:00～12:00	Erol
Toyama Univ.	JAPAN	8:30～20:00	8:30～20:00	8:30～16:30	休	藤井

(教養部・教授)

## 図書館情報システムの変更について

情報処理センターの機種が富士通 M360AP から IBM3081-KX4に変更になります。これに伴い3月20日から、図書館情報システムが新システムに切り替ります。

貸出及び、購入請求の手続き等は従来どおりですが、利用者端末機が3台から8台(本館6, 工学図書室2)に増設し、検索機能が強化されましたので大いに利用してください。

従来に比し機能上における主な改善点は次のとおりです。

- 応答速度の短縮
- 研究室からの蔵書検索
- 自分の貸出状況の照会
- 和・洋・図・雑を意識しない検索
- アクセスポイント(検索キー)の通覧
- 検索結果の絞り込みと保存

なお、旧システムのデータはそのまま新システムに移行されますので、現状と変わりなく利用し、検索ができます。検索方法の詳細等、利用に際し不明な点があれば、学術情報係等窓口にてお尋ね下さい。

情報検索

検索項目:

- 1 著者名等
- 2 タイトル
- 3 件名
- 4 出版者
- 5 分類
- 6 ISBN / ISSN
- 8 その他の番号等
- 10 抄録
- 14 請求記号
- 15 登録番号
- 17 資料ID

番号またはコードを入力して下さい。

e 終      n 追加情報

情報検索画面例 (メニュー画面)

情報検索  
タイトル

- 1 富山県畜産試験場試験成績書
- 2 富山県埋蔵文化財センター10年の歩み
- 3 / 富山県環境地方における慣行小作権の構成と農地改革 1
- 4 富山県環境地方
- 5 富山県環境地方の形態論
- 6 富山県水道 50年史
- 7 富山県立富山市民病院研究業績
- 8 富山県近世方言
- 9 富山県歴史
- 10 富山県立富山市民病院研究業績
- 11 富山県史
- 12 富山県統計書
- 13 富山県統計書
- 14 富山県科学文化センター研究報告

番号またはコードを入力して下さい。

t 別検索語    f 次頁へ  
i 別項目      b 前頁へ

e 終      v 前方一致検索

情報検索画面例 (タイトル一覧画面)

## 全国国立大学大型コレクション案内

前号でお知らせした以降に、他大学より下記の大型コレクションの目録が送付されましたのでお知らせいたします。

大 学 名	資 料 名
愛知教育大学	羅山先生集
兵庫教育大学	小学校ビデオ教材コレクション (VHS) (国語, 社会, 算数, 理科, 保健体育科)
神戸商船大学	米国政府科学技術情報サービス運輸文献収録マイクロフィッシュ版 (U.S. Government NTIS Transportation Masterfile)
熊本大学	F. カーモード教授旧蔵「シェークスピア」研究書コレクション (A collection of critical & biographical books and pamphlets formed by Prof. Frank Kermode)
愛媛大学	日本林政史調査資料
東京芸術大学	バロック (オランダ・フランドル) 寓意図像集コレクション 35 Items (The John Landwehr collection of emblem books (Part 2))

### — 図書館関係会議 —

(昭和63年11月～平成元年3月)

第2回国立大学図書館協議会シンポジウム

期 日 昭和63年11月17日～18日

場 所 関西地区大学セミナーハウス

北陸地区国立大学図書館会計担当者会議

期 日 昭和63年12月2日

場 所 福井大学附属図書館

昭和63年度北信越地区国立大学附属図書館事務(部・課)長会議

期 日 昭和63年11月29日～30日

場 所 福井医科大学

第6回学術情報センター・シンポジウム

期 日 平成元年2月20日

場 所 大阪科学技術センター